

分析事例 2

大規模農業経営体の動向

<分析の視点等>

5 ha 以上の経営耕地面積を持つ農業経営体を大規模農業経営体と仮定し、2015 年から 2020 年の 5 年間の大規模農業経営体数の変化を農業集落別にみることにより、新潟県長岡市での大規模農業経営体の動向を明らかにする。

分析事例

<使用したデータ>

- ・ 農林業センサス 経営耕地面積規模別経営体数（2015 年、2020 年）
- ・ 農業集落境界（新潟県）
- ・ 国土地理院標準地図

この分析は、5 ha 以上の農業経営体数の増減について、2020 年の 5 ha 以上の経営体数から 2015 年の経営体数を差し引くことで算出している。下図は QGIS を用いて新潟県長岡市の農業集落別で色分けし、国土地理院標準地図に重ねたものである。

長岡市において市の北部である中之島地域（赤枠内）や東部である栃尾地域（緑枠内）において、5 ha の農業経営体数が増加し、規模拡大が進んでいる一方、主に長岡地域の信濃川左岸流域（青枠内）において大規模農業経営体の減少がみられる。

